

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	671
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木 博
事務事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)				
予算上の事務事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)南土木事務所分				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32220		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備				事業開始年度
施 策 名	第2施策 身近な生活道路の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	道路法、相模原市私道路整備要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)</p> <p>生活環境の改善と安全で住み良いまちづくりに寄与するため、狭い道路の拡幅整備、位置指定道路等の私道路の寄附採納による整備、及び砂利道の舗装整備を行う。</p> <p>(2) 対象(誰、何)</p> <p>道路を利用する不特定多数の車両、歩行者</p> <p>(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。</p> <p>1 1箇所 1.5路線 延長 L = 1,195.0m 幅員 W = 2.0~5.4m 舗装面積 A = 3,970m²</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	県内他都市においても同様な事業を実施しているが、用地の取得については有償で取得している都市もある。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	150,588	64,582	108,334	131,700	150,000
一般財源	150,588	64,582	108,334	131,700	150,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	20,136	15,219	15,333	15,333	15,333
事業コスト合計(a)	170,724	79,801	123,667	147,033	165,333
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	道路舗装整備事業(箇所指定)			対象名称(単位)	整備延長(m)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	170,724	79,801	123,667	147,033	165,333
対象数	1,709	955	1,195	1,510	1,700
単位あたり経費(円)	99,926	83,561	103,487	97,373	97,255
前年度比		0.84	1.24	0.94	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	整備延長 (m)		指標式と指標の説明	整備実施延長/予算要求延長 整備実施率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,709.0	955.0	1,195.0			
目標	1,770.0	1,050.0	1,235.0	1,510.0	1,700.0	
目標達成度	0.97	0.91	0.97			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	舗装率 (%)		指標式と指標の説明	舗装済延長/市道総延長 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	82.8	82.7	82.8			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	82.8	82.7	82.8			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 申請受付から工事実施までの期間を短縮することにより、事業効果の向上が期待できる。			14 課題として認識されたこと 用地の取得に関して、複雑な権利関係が存在する場合があります、登記事務が滞ることがある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				